

誠之の教育

7月号（第640号）
令和6年7月1日発行
文京区立誠之小学校

防災教育で必要なこと

校長 土屋 秀人

7月となり、今年の元旦の能登半島地震からちょうど半年たちました。報道によると、石川県の奥能登地方では、倒壊した家屋や倒れたビルも残るところもあり、断水や道路は復旧しつつありますが、なお多くの方が避難所生活を余儀なくされているそうです。一日も早く復興するために、そして今後の災害に備えるために、私たちは何をすべきか常に考えていく必要があります。

先日、本校4年生は宿泊防災学習として、誠之小学校で宿泊を伴う避難所生活の体験を行いました。AEDや伝言ダイヤルの体験、非常食のわかめご飯の試食、教室で毛布三枚を使っただけの宿泊など、日頃なかなかできない経験を通して、防災について考える機会となりました。災害に備えるためには、日常的な防災意識の維持が必要です。地震はいつ発生するかわからないため、生活の中で常に防災を意識し、地震に対する備えを継続することで、被害を最小限に抑えることができると思います。そんなことを学ぶことができた充実した時間となりました。

昨年、防災士の資格を取得した都立高校生と話す機会がありました。避難所運営について様々学んだある高校生からは、「学校が避難所としてしっかり機能するためには、地域の人との協力が欠かせない。しかし自分のこれまでを振り返ってみると、地域の人のことをほとんど知らない。ある日突然地震が起きたとき、全く知らない人といきなり協力できるだろうか。日頃から様々な地域のイベントなどに自分から積極的に参加して、コミュニケーションをとっていくことの必要性を痛感した。」との感想がありました。

防災の視点として、地域コミュニティとの関係強化は重要です。隣人や地域住民と防災情報を共有し、緊急時には協力し合える体制を整えておくことが、いざという時の助けになります。そう考えると防災教育で必要なことは、様々な備えもそうですが、普段からの人と人とのつながりをいかに強めていけるかということともいえます。隣の人、身近な人、様々な人と、防災ということだけでなく、意識的に何気ないコミュニケーションを重ねていくことが、いま何より大切な視点だと感じています。

5年生 ハケ岳移動教室

5年生に進級して2月がたち、新しいクラスの中で、友達の輪が更に広がってきたように思います。5月27日より3日間、ハケ岳高原学園に行ってきました。

家や保護者と離れた土地で寝泊りをするということは、当然自分の事は自分でするという事です。持ち物の整理、食器の片付け、寝具の準備等、自分で取り組むことで、家族の苦労やありがたさに気付けた子供が多いたようです。また、集団で行動することは、「協力する」ことだけでなく、周りの状況をよく見たり、時には我慢をしたりすることが必要であり、それは他者を思いやる心が土台にあることにも気付くことができました。

様々な活動を通して、子供たちは大きく成長することができました。今回学んだことを、これからの学校生活に生かしていけるようにしたいと思います。保護者の皆様も、御協力ありがとうございました。



ふれあいセンター



キャンプファイヤー



学年レク



宿舎入り口にて



トラクター体験



滝沢牧場



ナイトレク



木工作

私は、ハケ岳移動教室を通して、いろいろな人たちの性格や個性、魅力がわかりました。同じ部屋だった人だけでなく、違う部屋だった人とも仲良くなれたかなと思います。これまで話したこともなかった人とも話せるようになりました。仲間たちの個性や魅力を知るのは、とても楽しかったです。

私は、ハケ岳移動教室を経験して、学年全体の一体感を改めて感じる事ができました。自分たちで時間を守ることができるようになったり、整列を素早くすることができるようになったりしたので、これからの生活にも生かしていきたいです。

今回のハケ岳移動教室は生憎の雨により、先生方や学園の方たちのお話を聞き行動する場面もあり、班全体の協調性が確かめられる場面が多くありました。来年の魚沼移動教室では今回のハケ岳移動教室のことを生かしてより良いものにしていきたいです。

ハケ岳を通して、学んだことは2つあります。1つ目は時間を守ることです。牧場体験では、時間を守りながら行動したため、予定通り進めることができました。2つ目は、協力し合うことです。チームワークの大切さを改めて実感しました。この2つの学びを意識しながら、より頑張っていきたいです。

6年生 魚沼移動教室

6月10日から2泊3日で、魚沼移動教室に行ってきました。合い言葉は「MKK～みんなで(M)協力して(K)絆を深めよう(K)～」です。そのために、よく見て(M)よく聞いて(K)よく考える(K)ことを意識して3日間活動しました。失敗も成功も成長のチャンスにして、前へ前へと進んでいくことを学びました。学んだことを今後の学校生活につなげ、誰からも慕われる6年生を目指していきます。

【1日目】



児童の言葉

☆魚沼醸造・八色物産雪室ファクトリー

雪室で大量の雪や米があることに驚きました。そして米を出荷するまでの工程や米の選別の仕方が分かって、とても勉強になりました。

☆キャンプファイヤー

キャンプファイヤーが一番の思い出です。最後に炎が青く光り、初めて見たのでとても印象に残りました。みんなと部屋で人狼をしたのも最高の思い出です。

☆奥只見ダム見学・遊覧船

遊覧船のデッキで、魚沼の自然や風を感じながら友達と話して仲を深めることができました。

奥只見ダムから見た景色が忘れられません

☆ゆのたにフォトラリー

みんなで諦めずに最後までゴールができて達成感がありました。普段は見る事ができない山々や田んぼが見られたり、現地の方にいろいろなことを教えてもらえたりしてうれしかったです。

【2日目】



☆新潟県立歴史博物館

たくさん展示が見られて時間が足りないくらいでした。特に上杉謙信の展示が気に入りました。時代を感じる絵の雰囲気や、兜や鎧なども本物のように迫力があってすごかったです。



☆魚沼移動教室で成長したこと

- ・今までは分からないことをすぐ人に聞いて頼っていたが、魚沼に行ったことで、しおりを見るなどして自分で先のことを考えて行動できるようになりました。そして、みんなで5分前行動を意識することができました。
- ・班長になったので、班員の人数確認をして、周りを引っ張っていくことの大切さがよく分かりました。これからも周りを引っ張っていく存在になりたいと思いました。
- ・みんなで生活をするため相手のことを考えて行動するようになりました。集団行動する上で、一人が遅れたらみんなに迷惑がかかることを知りました。学校でもみんなで協力して一つのことをやり遂げたいです。

7月の生活目標 『計画的に行動しよう』

7月の行事予定

日	曜	行 事	こども ひろば
1	月		
2	火	避難訓練	
3	水		
4	木	こころの劇場 6年生	
5	金	委員会	
6	土		○
7	日		○
8	月	短縮時程	
9	火	短縮時程	
10	水		
11	木	わくわく班活動	
12	金		
13	土	土曜授業公開	
14	日		○
15	月	海の日	○

日	曜	行 事	こども ひろば
16	火	短縮時程	
17	水	クラブ活動	
18	木	給食 終	
19	金	終業式 大掃除 プール納め集会	
20	土		○
21	日		○
22	月	夏季休業日始 夏季水泳指導① 個別懇談①	
23	火	夏季水泳指導② 個別懇談②	
24	水	夏季水泳指導③ 個別懇談③	
25	木	夏季水泳指導④ 個別懇談④	
26	金	夏季水泳指導⑤ 個別懇談⑤	
27	土		○
28	日		○
29	月	夏季水泳指導⑥	
30	火	夏季水泳指導⑦	
31	水	夏季水泳指導⑧	

※8月の予定 8/13・14・15は、学校閉庁日です。

引き渡し訓練	9月2日(金)	始業式後に引き渡し訓練を実施予定です。
運動会	10月5日(土)	校庭において、実施する予定です。会場設営手伝いなどについて、PTAと連携して進めています。
音楽会	11月30日(土)	体育館にて、実施する予定です。
土曜授業公開	9月14日(土) 2月15日(土)	土曜公開授業、実施日程です。
2学期個別懇談	12月16日(月)～ 24日(火)	年度当初の予定より、変更になりました。